

OMF インターナショナル日本委員会
〒272-0035 千葉県市川市新田 1-16-14
Tel. 047-324-3286 Fax. 047-324-3213
Email: hc@omf.or.jp
HP: omf.org/jp/ 郵便振替 00100-0-615052



地の果てのすべての者が私たちの神の救いを見る。(イザヤ 52:10)

宣教師の成功って？

リチャード・ルー師

神が、アメリカに住む私に初めて台湾を意識するよう導かれたのは、私が医学生二年目の時、台湾で働いていた二名の元宣教師たちが学校に来て、「なぜ私たちは台湾を去ったのか」という、何とも風変わりなテーマで話をした時でした。

講師の欧米人二人は、七年間頑張ったにもかかわらず、現地の言葉をどうしても習得できなかつたことを明かし、私を含め、その場にいた台湾人の学生たちにこう言ったのです。「神は皆さんが持つ文化背景、語学の能力、専門職を、理由もなく与えたわけではないことを考えてほしいのです。神は皆さんのうちの誰かが、やがて同胞人に福音を伝える者となるよう、望んでおられるのではないのでしょうか。」

その年、私の家族は十二年ぶりに台湾を訪れました。台湾滞在中に、私は神が台湾人へ福音を伝えるよう願っておられると感じるようになりました。

た。私の家族は台湾の片田舎の出身で、村にあるものといえどインターネットも映画館もない所でした。私はそこをただ歩き廻り、田んぼやお寺や地元の人々を眺めて過ごしました。



台湾のルー師一家

その時、「ここがあなたの故郷だ。彼らはあなたの兄弟姉妹なのだ」という思いが湧いたのを覚えています。

私はアメリカに戻り、インターンを終え、何度か職場を変え、引越しをし、結婚しました。あつという間に十年が過

ぎていました。マサチューセッツ総合病院の医療情報学の講師という安泰な職も得ました。仕事に関して、私の夢は実現し、人生は順風満帆でした。

二〇一三年十月、妻のレイチェルと私は再び台湾を訪れました。OMF台湾の会議中、宣教師の子供たちのお世話をするのが目的でしたが、宣教師たちと交わりながら多くの時間を過ごしました。

そこで私たちに示されたのは、台湾の労働者の中に霊的な突破口が生まれていないという事でした。宣教師たちは台湾人と友達になり、長年証しをし、ケアを続けてきました。宣教師たちの多くは定年を目の前にしても、彼らの宣教師としてのキャリアに「これ」といつて見せられるものはほとんどないと聞いた時、私は一つのたとえ話を思い出しました。「ある石工が岩を砕こうとするはしを振り下ろし続けていた。九十九回繰り返しても目に見えるようなひび割れはなかったが、百回目を振り下ろした時、岩は真つ二つに割れた。そして、岩を砕いたのはその最後の一撃

ではなく、それまで重ねてきた一撃一撃だった。」

霊的突破口が開かれるまで、宣教師たちは何十年間も失望を味わい続けることになるかもしれない。しかし、彼らはそれを覚悟で働いており、そんな彼らの態度は私たち夫婦の心に深く刻まれました。

アメリカに戻って、あるコースを受けた時、一人の講師が皆にこう祈るよう勧めました。「神さま、もしあなたがそうされるなら、私は(場所の名前)であなたに仕えたいと思います。」その後二週間あまり、私はその祈りを祈っていました。でも、思い出した時に祈るくらいで、正直真剣な祈りとはいえませんでした。

二〇一四年五月のある日突然、私は職場で解雇を言い渡されました。私個人の問題ではなく、突然で前例のない予算削減が原因でした。しかし、上司の部屋を出る時には、私は誰が私をクビにしたかを確信していました。そして、今度は私が神の御前に約束を守るかが問われる番でした。台湾在住の友人に就職の口はない

かと聞いてみたところ、一週間もたらずに台湾での仕事が舞い込んだのです。同時にOMFにも連絡し、電話とメールで話を重ねた後、私たち夫婦は正式にOMFに志願するようになりました。

そうして台湾に遣わされて、もう五年余り経ちました。最初は医療専門家でしたが、今はフルタイムの宣教師になりました。子どもも三人与えられました。以前は信仰はプライベートなものでしたが、今は周囲の友人たちが、私たちの言動をクリスチャンのものとして見守っているようなので、いわば「公的クリスチャン」です。以前は収入や評判で成功の度合いを量れましたが、今の働きは、自分の「功績」を書き表しにくい時もあります。

もし私が五年前に、「台湾で成功する宣教師ってどんな人？」と聞かれたなら、「アジア系で台湾語や北京語ができ、人目を引くような経歴や専門職があって、聖書をはっきりと教えられる人」と答えただでしょう。しかし、これら

神は私に示されました。神が本当に必要とされているのは様々な職業・背景の人々です。そして、地元の友人たちのために「祈っていますよ」と言わなくとも祈っていてくれる人、チームで働く時には、キリストにある一致を示す人、友人を下心になしに食事に招く人なのです。また、日常の中で、穏やかにかつ大胆に福音を指し示し、蒔いた種が実を結ぶまで何年でも待つ覚悟がある人です。

皆が赦しを必要としている罪人で、皆が死を恐れ、人生に希望を求めています。皆が不安を持ち、何があっても自分を愛し続けてくれる人を密かに求めています。

結局のところ、真の希望は真理に根差しており、それが福音です。だから福音こそが唯一の希望なのです。神はこの事を私が心に固く保つようにされ、福音を柔軟に、忍耐強く、そして何より謙遜をもって伝えるよう願っておられます。あるたとえのように、「伝道はある物乞いが他の物乞い仲間にごとにいつたらパンが得られるかを伝えるもの」なのです。

神様の時を待つ

在英邦人ディアスポラ伝道

相馬裕美

八月下旬は学生さんの引越しの時期。パーミンガムがいつからいつまでになるかわからない状態です。学生さんから「いつロックダウンされるかわからないので、裕美さんに頼まないで、業者を頼みます」と連絡がきました。学生さんの引越しすらお手伝いできないこの状況を、神様はいつまでお許しになっているの



日本人家族と公園でソーシャルディスタンス
ティータイム

かと、悲しい気持ちになりました。教会で礼拝していない、教会の人々と会っていない状況も半年以上も続き、神様に「いつまでこの状況が続くのですか？」と嘆いたりしてました。

ある日、伝道者の書三・二「神のなさることは、すべて時にならぬ美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた」という神様からの語りかけを聞いた時にふっと心が軽くなりました。そう、今はその時ではない。「神様の時」を待とう、期待しようと思いました。

しばらくして、一緒にバイブルスタディをしているRさんから「裕美さん、私イエス様を信じました！」と連絡が来ました。私にとっては突然のことでもとてもびびくりしましたが、彼女の表現を借りると「少し空いている教会のドアがあつて、『開けて中に入りなさい』という声があったので入ったら、そこが信仰の世界だった」というのです。私が「イエス様を自分の罪からの救い主として信じますか？」と聞くと、はつきり「はい」と答えてくれました。宣教師の特権です。とても嬉

しい瞬間で、その嬉しさは私の心の中でずっと続いています。

確かに「神様の時」があるのだと思います。目の前の状況は悪くなることもあるかもしれませぬ。でも、これからも神様の時を期待して待とうと思えます。

コロナ時代の海外渡航

国際主事

菅家 庄一郎
（すがや しょういちろう
ようじ）

コーチングをしている宣教師（日本人ではない）とズームで話しました。彼と奥様は新しい働きのためA国からB国の三市へ移動したいのですが、A国からB国三市への直行便がありません。それでまずA国からB国のB一市へ移動し、そこで二週間の隔離を含む約一か月の滞在をしています。

さらに、B一市から目的地のB三市へ飛ぶ直行便もありませんのでB二市へ移動し、そこでさらに最短で二週間の隔離です。その後、B二市からB三市へ飛びます。B三市へ移動した後、そこで活動を始める

前に二週間の隔離です。

コロナウィルス下の海外移動はこんな時間に時間がかかってしまうことがあります。これまで簡単に海外旅行ができた時代がまるで夢のようです。宣教師が船で宣教地を目指した時代に逆戻りしたかのようです。そういう中であわてることもなく、落ち着いてできることをしようとしているこの宣教師夫妻に励まされました。どうか宣教師の働きがこんなに不便になつていることをご理解くださり、忍耐をもつて祈りお支えください。（庄一郎）



伊藤めぐみ主事と義理の御両親と共に

コロナ禍の中、大変な猛暑の夏休みとなりました。皆様には如何お過ごしでしょうか。一年前には想像もつかなかった新しい日常を過ごす中、主は私たちに何を語っておられるのか問われる日々です。

夏の諸集会はほとんどがズームで行われました。JCCA中部地区のサマーキャンプも初めてズームを用いたキャンプとなりました。収録会場となった栄聖書教会で初日は分科会が持たれました。夫は「多様性を認めつつ福音を伝えるには」というテーマで、実践的な伝道の方法について学び考える時が持てたそうです。私は「主にある家庭生活」というテーマで、夫婦関係、子育てについて視聴覚教材も用いて共に学ぶ時が与えられました。翌日は朝、夕の集会有り、夫が二回のメッセージを取り次ぎました。メッセージの後はブレイクアウトセッションを用いて小グループの分かち合いの時、ズームを使われるのが初めての方もおられたようで、ホスト役の先生方は大変なご苦労を担ってくださいました。

た。何もかも初めてでありましたが、皆さんがよく協力し、初のズームを用いたサマーキャンプが祝されたことを共に主に感謝しました。集会の合間に、隣のアガペクリニツクに伊藤先生ご夫妻、めぐみ師を訪問することができたのも感謝な時でした。いつもにもまさり、人とお会いできる機会が尊く感じられます。きつと、皆様もいつもと違う夏を過ごし、いつもと違う恵みを数えておられることでしょう。

皆様のお祈りを心から感謝し、皆様の上にも主の平安、み恵みを祈りつつ。(容子)

主のみことばの前に

国内主事 伊藤めぐみ

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか」(マタイ一六・二五、マルコ八・二九)この一か月間、主は二回のメッセージを通して、このみことばを私に語ってくださいました。

八月初旬、東海地区のキャンプに参加しました。オンラインキャンプでしたが、わが家

が教会のすぐ隣ということもあり、数名の方々と共に礼拝堂にて参加させていただきました。講師はOMF国際主事の菅家先生ご夫妻。メッセージや分科会、コンサートと充実した内容を全てオンライン



で開催し、コロナ時代の新しいスタイルを体感しました。そのメッセージで語られたのが、冒頭のみことばでした。

また八月下旬、中三の息子と甥っ子、そして義姉の四人で中高生キャンプのYouTubeを視聴しました。「マルコの福音

主の前にみことばと祈りのとき

書全体を学ぶ」という、中学生にとつては少々ハードルの高そうなテーマでした。しかし、講師の先生がわかりやすく楽しく、そして熱く語ってくださいました。そしてなんと、ここでも冒頭のみことばが語られたのです。

この二回のメッセージで共通して語られたこと、それは主のみ心をなかなか理解できなかった弟子たちの姿でした。毎日イエス様と寝食を共にし、間近で教えを聞き、奇跡を目撃していた弟子たち。ときに素晴らしい答えをしたかと思うと、その直後には「下がれ、サタン」と言われてしまう。そんな弟子たちの姿が私自身と重なりました。しかし、イエス様はあきらめずに、あきれずに、見捨てずに弟子たちを訓練し続けてくださいました。それはこれから起こるであろう厳しい迫害の中で宣教の使命を全うさせるためだったのです。

この一か月、二人のメッセージの口から語られた共通のメッセージ。主のみことばの前に、悔い改めと感謝をささげた夏となりました。

オンライン全体修養会

日本ディアスポラ伝道

横山好江

ディアスポラ伝道部全体修養会が十月にタイで予定されていましたが、変更を余儀なくされ、七月のリーダー会議で一年延長が決まりました。三年に一度の全体修養会。OMFのフィールド(宣教地)はほぼ全て、一つの国や地域に限定されているのですが、ディアスポラ伝道部の場合は違います。宣教の対象は母国外に在住する東アジア人です。場所はOMFの働きが存在する国であればどこでも、です。十六カ国で約九十人の働き人、ボランティアを入れると百二十名が奉仕しています。三年に一度、一堂に会するというのも簡単な事ではなく、場所選びから始まって様々な配慮が必要です。タイの施設に決まり、チームや講師も決まって準備が順調に進められていたところにコロナ禍となりました。

前回、イギリスで行われた

際には、私達が着く前に会場がノロウイルスに見舞われ、何とか決行しましたが感染者が次々と表われ、プログラムの半分もできなかったかどうかという結果でした。そのため、今回は準備委員の選定から始まり、かなり力を入れていました。会場が一年延期を受け留めてくれたことも大きく、取り敢えず取り止めではなく延期となったことに多くのメンバーが安堵しました。

三年に一度、一堂に会することを楽しみにしていた方達のために何かできないかと検討しました。多くの会合がオンラインで行われるようになり、オンラインで何をどうできるかを話し合いました。五日間のプログラムをオンラインにするのは大変難しく、十六カ国の時差を考慮する必要もあり、一度に二時間のセッションを三回。この機会を利用して月に一度、九ヶ月にかけてと決まりました。一時間を有効利用するために、各自が講義などを前もって見て、オンラインで集まる際にはそれをもとに質疑応答や話し合いをすることに

なりました。在オーストラリアのメンバーがオンライン素材の運用に経験があり、全体修養会のためのプラットフォームを作ってくれました。メンバーは誰でも参加でき、自己紹介から始まってそこに掲載された講義などのビデオを自分の時間に観ることが出来ます。この報告を書いている三日後に第一回を行います。全体セッションを経て、別時間に小グループに分かれて交わりと祈りの時を持ちます。これはヨーロッパ、アジア、オセアニアなどの地域ごとに分けられているので、自分たちで時間を設定できます。私はアジアの一つの小グループのリーダーとして奉仕させていただきます。

全体修養会に代わるもののためにお祈りをお願いしてきました。このように主が祈りに答えてくださっていることを、感謝をもってご報告させていただきます。十月、十一月と続くセッションのためにお祈りいただける幸いです。

アブラハム、イサク、ヤコブの神

タイミエン族 有澤 達朗 ありさわ たつろう

たまみ

八月二十三日、単立タイ国宣教師・森本憲夫先生が五十八年のタイ宣教を終え、八十八歳で召天されました。葬儀に参列し、森本豊子先生と実兄にお会いし、慰めと祝福を受けました。チェンマイ県スパンブリ県の道中「アブラハム、イサク、ヤコブ」の神、という句がずっと心に響いてい



タイ語礼拝直後、説教箇所をミエン語聖書で読む壮年会

ました。

この表現を聞いて「民族宗教の神」を思い浮かべるのは、聖書に触れたことがない一般の方たちでしょう。旧約聖書中この表現を辿ると、「神は、約束したことを何十世紀を経ても忘れることなく、誠実に果たされる生ける神である」と分かります。現代の信仰者の視点から言うと、受け継いだ信仰は、信者のプライベートルな生活様式ではなく、歴史的連続性に土台を持つ共同体の共有真理である、ということを見せてくれる告白文です。

では葬儀と「アブラハム：の神」とどのような関係にあるのか。

私たちはキム・ムン語に焦点を絞ったので、チェンマイ・ミエン宣教会には「信徒」として出席するつもりでした。ところが、ジェムエーン牧師から依頼される事を一つ、また一つと引き受け、結局深く関わることに。土曜のヘブル語とミエン語識字教育のクラス、月一度の礼拝説教、役員会出席、水曜祈禱会で『使徒信条』を教える現状となりました。

嬉しい驚きは、学びや説教に対する渴望と吸収力がとても高いこと。牧師の説教に変化が起き始めました。賛美グループとリーダーの選曲も変わり、役員会では礼拝改革を議論するようになっていきます。

これらの変化の引き金として思い当たることがあります。エズラ三章からの説教でした。「私たちはここで孤立した礼拝を捧げているのではない。真の礼拝とは過去の信仰者との連続性を意識して、昔ながらの信仰を告白する礼拝を捧げることである。そうすることで次世代への信仰継承と現在の伝道への力が与えられる」と伝えました。あの説教からいろいろと変わり始めたようです。

加えて葬儀もです。彼らが生まれるはるか以前にタイに來られた森本憲夫宣教師は、タイ国福音連盟創設当時の委員でした。連盟設立ゆえに今のミエン教会協議会は公式登録が可能で、宣教師にもビザが発給されている、と紹介したことも、チェンマイ・ミエン宣教会の礼拝改革に影響を与えていると思います。また、

タイでミエン族伝道と識字教育に携わり、アメリカ帰国後もミエン族教会のため奉仕を続けているC・W・カラウエイ宣教師の百歳の誕生日を八月中旬に祝いました。ミエン族のため約七十年、今でも奉仕していると伝えたことも、礼拝の姿勢に影響を与えています。

つまり、アブラハム、イサク、ヤコブに対して誠実であられた神は、森本宣教師にも、カラウエイ宣教師にも、今の私たちにも誠実であられ、今私たちがこの神を礼拝するのは、孤立した自己満足の営みではない。私たちは、「雲のように私たちを取り巻いている」多くの証人たちとの歴史的連続性において、生ける神を礼拝している。このことをチェンマイの兄妹たちは理解し始めているようです。

十月三十一日は宗教改革記念日ですが、タイの教会ではほとんど意識されていません。『使徒信条』の次は『ウェストミンスター小教理問答』を学びたい。宗教改革者たち、教理問答や信条を生み出したピユールリタンたちとの歴史的連

続性を確認することは「二人よがり」の教会に墮落しないために大切なことでしょう。

(達朗)

今年の八月二十三日の日曜日は、思い出深い日となりました。主人からの報告にありました日本人宣教師、森本先生の帰天（とご家族が称していました）がタイで、そして私の母の洗礼式が日本で、多少の時間差はあれ、ほぼ同時間帯に行われたためです。

「忠実なしもべよ、行程を走り切った。よくやった」と天の神様が森本先生を迎え入れ、天使たちのハレルヤコーラス。次に満八十九歳で神様の子供となった私の母にも天使たちの大歓声が響き、天上はハレルヤの連呼だったことでしょう。

一つのたましいが天へ帰り、新しいたましいが加えられた記念日となりました。神の家族となった母も、先に神の家族に加えられた私たちも、「よくやった、忠実なしもべよ」と言われるまで、先達に習い歩めるようにと祈ります。

(たまみ)

主に期待して

カンボジア 今村 裕三いまむら ゆうぞう

ひとみ

トロペアンベーン村のソッケーン家族の長女シアンメイさん（小四）は六月に洗礼を受けたいと申し出ました。それから学びを聖日礼拝後にしています。今年の初めあたりでは聖書を読むのもやっとという語学力でしたが、今では随分と読めるようになりました。田舎の小学校では、クメール語がある程度読めるようになるには小学校五年生くらいまでかかるという、日本と比べるとびっくりするような状況があります。毎週貸し出している本も楽しく読めるようになっていくようです。素直な信仰で成長している彼女のたれにお祈りください。カンボジアでは新型コロナウイルスの影響で三月から学校は休校になり、インターネットやテレビを通して最低限の授業が行われていますが、田舎ではそのような遠隔授業に参加できない子供達がかなり多くいます。彼女は学校があつたときには、友達に聖書を



聖書の学び中のシアンメイさん。神様との深い生きた交わりが与えられるようにお祈りください

られました。多くの方々にお祈りいただき手術は無事に終わり、八月末現在、転移は見られていないようです。今後の回復、抗がん剤治療の為に祈りください。

彼女は朝起きて息が止まっている夫を最初に発見し、果敢にも心臓マッサージをしつつOMFの医師に連絡を取りました。救急車が来たのは道に迷ったこともあり、一時間後。その後、三種類の警察(地域、県、国際)が次々と来て、同じ質問をユージーンにし彼女はその度に泣き崩れます。警察官はきつい口調で質問し、土足で入り込み、遺体をぞんざいに見分し、全てが終わわり、遺体を動かす許可が出たのは夕方でした。

私たちは駆けつけて家に入った最初の数分間「神様、彼を生き返らせてくださいませんでしょか？」と祈りました。その後、医療者の立場から、ユージーンが倒れないように水分を与え、彼との最後のお別れができるように心を尽くしました。

翌日の暑い日差しの中の葬

儀、火葬後のまだ熱い骨をみんなと拾い…。私は泣き疲れているユージーンの前では、決して泣くまいと奥歯を噛み締めました。海外で家族を突然死で失うという想像もしなかつた辛さをユージーンは体験したのです。彼女の発病は、夫の死後に韓国へ帰り、精神的にかなり参っていたのが、最近ようやく立ち直りつつあった矢先の出来事でした。

「主よ、なぜ?」と思いましたが。多くの方々が祈り、また返信をくださり励まされました。そして幾人かの方々は同じような思いを通して、でも神様と共に前を向いて生きておられることを知り、神様がそばに居てくださる事を感じ、その神様がユージーンを支えてくださる事も感じました。

ハッキョン、スンウォン韓国人宣教師夫妻(奥様は私の友人)は、ウォンイル師が学生の頃から長年、親のようにお世話され、彼の死後も丁寧にユージーンさんをサポートしてこられました。彼らの励ましのためにもお祈りください。

(ひとみ)

フィリピンに日本

宣教への熱い風吹く

日本 総主事 佐味 湖幸

先日、「はい、はい」というタイトルで、OMFフィリピンホームサイドが日本に関心のある人たちを対象に今流行のウエビナーというネット上でイベントを企画し、私をそこにゲストとして招いてくださいました。平日の夜でしたが、四十人以上の人たちが集まりました。

OMFフィリピンホームサイドで短期宣教の係をするS

はい、はい

Did you know that the Japanese are the second largest unreached people group in the world?
Have you ever wondered what it is like to be a Christian in Japan?

Join us in a Zoom webinar on August 27 (Thursday), 7:30-8:30 PM

イベントのチラシ。フィリピンで日本宣教への関心が高い!

読んで聞かせ、友達に喜ばれて、教会学校にも誘っていました。今の彼女の祈りの課題は早く学校が再開されて友達に会い、イエス様や聖書のことを紹介したいというものです。

両親のソッケーン兄とサオピア姉の信仰も深められていき、家族揃って神様を礼拝する歩みができるようにお祈りください。(裕三)

去年の四月にカンボジアで急死されたウォンイル宣教師(韓国人三十七歳)の奥様ユージーン師が、リンパ腫癌と診断され八月二十日に手術を受け

シヤローム折教会 宮崎清水町教会 活けるキリスト者教会 名古屋福音教会 西宮折教会 新下関教会
 毎月第四土曜日 2:00pm 毎月第二木曜日 5:30pm 毎月第一土曜日 2:00pm-3:30pm 毎月第二水曜日 10:00am 門戸聖書教会 (JECN) 札幌折教会 毎月第二金曜日 2:00pm
 毎月第一土曜日 2:00pm-3:30pm 毎月第二水曜日 10:00am 門戸聖書教会 (JECN) 札幌折教会 毎月第三金曜日 2:00pm
 毎月第四金曜日 7:00pm 毎月第一土曜日 2:00pm-3:30pm 毎月第二水曜日 10:00am 門戸聖書教会 (JECN) 札幌折教会 毎月第二金曜日 2:00pm
 毎月第四金曜日 7:00pm 毎月第一土曜日 2:00pm-3:30pm 毎月第二水曜日 10:00am 門戸聖書教会 (JECN) 札幌折教会 毎月第三金曜日 2:00pm
 毎月第四金曜日 7:00pm 毎月第一土曜日 2:00pm-3:30pm 毎月第二水曜日 10:00am 門戸聖書教会 (JECN) 札幌折教会 毎月第二金曜日 2:00pm
 毎月第四金曜日 7:00pm

さんが司会進行をしましたが、彼女がまず自分の証しを分かち合ってくれました。高校の授業で戦争中に日本がフィリピンで行ったことを知り、日本人は嫌いだっただけです。しかし、ご両親の勧めで日本語を勉強し、自分がそれまで知らなかった日本の文化に目が開かれました。また、日本にはクリスチャンが少ないことを知ったときに、宣教師になって日本へ行くようにと神様からチャレンジを受け、神様は彼女の心を変え、日本への愛と日本宣教への思いを与えてくださったとのことでした。現在彼女は長期的な宣教師として日本へ遣わされる準備をし、その時を待っています。

その後、Sさんが私にインタビューをするという形で会は進められました。タガログ語で挨拶をしてから、私がどのように信仰に導かれたか、なぜ日本ではクリスチャンになる人が少ないのか、また日本人クリスチャンが遭遇する課題などについて話しました。話の中で、フィリピンで信仰に導かれたり、信仰が励まされたり

した日本人がたくさんいることに触れ、日本人ディアスポラ宣教の大切さをお分かちしました。また、フィリピン人クリスチャンたちが彼らの信仰の歩みを励まし、助けてくれたことに対して感謝しました。参加者からさまざまな良い質問が寄せられ、彼らの日本人宣教への関心の高さと熱い祈りを知り、心から感謝しました。私はフィリピン宣教から戻って十五年経ちますが、その間フィリピン教会は着実に成長し、宣教師を多く送り出す国になりました。ハレルヤ！

教会訪問ははじめました

待機宣教師 坂西信悟

七月中旬から始まった教会訪問。コロナ感染者数が増え続けている中ですので、遠出は控え、八月末までは滞在している実家のある神奈川県内の教会を訪問していきました。訪問先の教会では、礼拝中に換気時間を設けたり、いくつかの部屋に分かれて礼拝をささげたり、礼拝回数を増や

して密になることを避けるなど、様々な方法でコロナ感染対策をしつつ、礼拝をささげておられました。また、オンライン配信に對しての考え方や利用方法も様々でした。礼拝や集会のあり方に違いはあっても、それぞれの背後には祈り



最初の訪問先は兄が牧会している教会でした

と話し合いが重ねられていることを想像します。その過程を経て、それぞれの教会が現状にあったあり方を試行錯誤しておられる姿にとても励まされています。礼拝とは？集まるとは？聖餐とは？交わりとは？問われ直している様々な

質問に對して、御言葉に聞きながら決断をしている訪問先の教会のために、これからも祈っていかうと思いを新たにしています。

また、礼拝や集会後にゆっくりと交わりの時間を持つことは難しくても、限られた時間の中で、うれしい再会が与えられています。生まれ育った地区ですので、私が子どもの頃にお世話になった方々と久しぶりに顔を合わせて、お互いの近況を分かち合うことができました。私が学生時代に奉仕していたキャンプで出会った当時の小中学生が、青年となって教会に仕えている姿を見せていただきました。以前から親しい交わりが与えられていた牧師と、主に仕えることの喜びと労苦を分かち合い、ともに祈る時間が与えられました。コロナ禍の教会訪問であったとしても、主が備えてくださったという出会いが確かにあることを味わっています。

十月から十二月は関西を巡ります。主の宣教にともに仕えることを励まし合う機会となりますように。

OMF 宣教折教会 市川サ・チャペルオ・ア・ブ・ド・ヒー・ジョン 市川サ・チャペルオ・ア・ブ・ド・ヒー・ジョン
 毎月第三水曜日 10:30am, 7:30pm 毎月第二月曜日 10:30am
 大阪・昭和聖書教会 東京・板橋折教会 久米宅 宣教折教会 by Zoom
 毎月第三火曜日 7:00pm 毎月第三金曜日 1:30pm - 3:00pm 毎月第一金曜日 1:30pm -